

バンコク都高校生訪問団受入事業 実施結果報告書



受入期間：2026年9月2日（水）～8日（火）

愛知県政策企画局国際課

報 告 書 目 次

1	バンコク都高校生受入事業について	……	3
2	行程の詳細	……	4
	1日目 9月2日(水)		
	2日目 9月3日(木)		
	3日目 9月4日(金)		
	4日目 9月5日(土)		
	5日目 9月6日(日)		
	6日目 9月7日(月)		
	7日目 9月8日(火)		
3	参加者アンケート(まとめ)	……	12

1 バンコク都高校生受入事業について

【事業概要及び目的】

愛知県とタイ・バンコク都が2012年7月に締結した「相互協力に関する覚書」に基づき、バンコク都から高校生訪問団を招へいする事業です。県内高校生とバンコク都の高校生が交流することで、両地域の若い世代が国際感覚を養い、両地域のグローバル人材の育成を図るとともに、バンコク都の高校生が愛知の文化や風土等に触れることで、この地域に対する理解を深めることを目指しています。

本年度は9月2日（水）から8日（火）までの日程で実施し、バンコク都在住・在学の高校生10名及び引率者3名で構成する訪問団が愛知県を訪問しました。

【全体日程】

2026 年 9/2 (水)	08:00 10:00～11:00 14:00～16:00	中部国際空港着 (車内)オリエンテーション 葵製茶工場見学 トヨタ産業技術記念館
9/3 (木)	10:00～11:00 12:00～17:30	カクキュー八丁味噌見学 豊田北高等学校訪問
9/4 (金)	09:00～13:00 14:00～16:30	名古屋大学にてタイ人留学生 との意見交換 ジブリパーク見学
9/5 (土)	10:00～11:00 13:30～16:00 夕刻～	徳川園にて県高校生との交流会 あま市七宝焼アートヴィレッジ にて県高校生との交流会 ホームステイ
9/6 (日)	終日	ホストファミリーとの交流
9/7 (月)	10:00～11:00 13:30～13:50 14:30～16:00 16:30～18:00	日泰寺訪問 知事表敬訪問 名古屋城見学 大須商店街散策
9/8 (火)	11:00	中部国際空港発

2 行程の詳細

【1日目 9月2日（水）】

◇08:00 来県

一行は無事に中部国際空港へ到着しました。深夜便でも疲れを感じさせない様子で、真新しい景色に目を輝かせていました。



◇10:00-11:00 葵製茶工場見学

全国有数の抹茶の一大産地である愛知県西尾市で、大正時代から続く老舗の抹茶メーカーを訪問しました。専門のアドバイザーから抹茶に関する説明を受け、石臼場にて抹茶を挽く体験もしました。実際にお抹茶を飲みながら、その作法も学びました。



◇14:00-16:00 トヨタ産業技術記念館見学

建築史的にも貴重な赤レンガの建物を産業遺産として保存・活用するトヨタ産業技術記念館にて、近代日本の発展を支えた基幹産業のひとつである繊維機械と、現代を開拓し続ける自動車の技術の変異を学びました。



【2日目 9月3日（木）】

◇10:00-11:00 カクキュー八丁味噌工場見学

八丁味噌のはじまりや、名前の由来を学び、八丁味噌の入った木桶等を見学しました。実際に八丁味噌を使ったお味噌汁や田楽を試食し、愛知県の伝統的な食文化についても学びました。



◇12:00-17:30 愛知県立豊田北高等学校訪問

豊田北高等学校の生徒と交流しました。わいわいイングリッシュクラブの生徒と昼食会で懇談した後、5～7限の英語の授業を一緒に受講しました。授業では SNS の利用等情報リテラシーについて共に学び、日本の学校生活や文化についても学ぶ機会となりました。放課後は清掃体験や文化祭準備、部活動等を見学し、茶道部では、お抹茶と生菓子を頂き、作法についても学ぶ、貴重な機会となりました。最後には、再びわいわいイングリッシュクラブの生徒らと交流し、互いに積極的に話しかけあいながら、親交を深めました。

◆参加者の感想（抜粋）

- ✧ このプログラムの中で最も印象に残った思い出の1つ。日本の学校生活について学び、とても親切な皆と交流できたことに大きな喜びを感じた。
- ✧ 私たちの学校との違いや共通点について深く知ることができた。日本の高校生は、バンコクについて知りたいという意欲を持ってきていて、とても嬉しかった。たくさんの友人ができ、皆とても親切でフレンドリーだった。またいつか再会できることを願っている。
- ✧ 本当に素晴らしい経験であり、すべての時間を心から楽しむことができた。

◆プログラム

- ✧ オリエンテーション
- ✧ 昼食
- ✧ 5限授業参加（1年生）
- ✧ 6限授業参加（2年生）
- ✧ 7限授業参加（2年生）
- ✧ 清掃活動に参加
- ✧ 休憩・校内案内
- ✧ 文化体験（茶道部でのお茶会）
- ✧ 生徒との交流会



【3日目 9月4日（金）】

◇09:00-13:00 名古屋大学訪問

新しくできた Common Nexus を見学するとともに、外国人留学生向けの留学プログラム（G30）についての説明を受け、熱心に質問をする生徒もいました。タイ人留学生との昼食交流会では、日本でどのような生活を送り、授業を受けているのか等、積極的に質問していました。

◆プログラム

- ◇ Common Nexus 見学
- ◇ 大学・G30 概要説明
- ◇ 博物館見学
- ◇ 2008 ノーベル賞展示室見学
- ◇ 昼食交流会



◇14:00-16:30 ジブリパーク見学

スタジオジブリ作品の世界を表現した公園施設「ジブリパーク」を訪問し、県の特徴ある取組みを学ぶとともに、日本のポップカルチャーを体験しました。

◆参加者の感想

- ◇ もともとスタジオジブリが大好きだったので、この場所はとても興味深く、独特の魅力があると感じた。実際に訪れることができて本当に嬉しかった。
- ◇ 作品の世界観が忠実に再現されており、まるでジブリの世界に入り込んだような体験ができた。本当に素晴らしく、印象に残る訪問だった。



【4日目 9月5日（土）】

◇10:00-11:00 徳川園にて愛知県内高校生との交流会

◇13:30-16:00 あま市七宝焼アートヴィレッジにて
愛知県内高校生との交流会、英語ディスカッション

愛知県立高等学校3校から参加した11名の生徒と、庭園散策や、文化体験、美術鑑賞等を行いました。七宝焼体験では、個性の光る作品をそれぞれ作る中で、日本の伝統芸能の技術を学びました。また、英語ディスカッションでは、日本とタイでの異なる点や同じ点について話し合い、お互いの文化について知る中で、交流を深めました。

◆参加者の感想（抜粋）

（バンコク都高校生）

- ◇ お互いの文化や学校のルール、教育制度などについてたくさん話をした。皆とても親切で優しく、多くの事を分かりやすく教えてくれた。
- ◇ いつも私が会話に参加できるよう気かけてくれた。お互い上手く伝わらず苦労することもあったが、その度に一緒に考え、問題を解決することが出来た。
- ◇ 一日中一緒に過ごした時間はとても楽しかった。言葉が違っていても、お互いに理解しようと努力しながら交流することができ、とても良い思い出になった。

（愛知県高校生）

- ◇ バンコクの生徒と1日交流し、お互いの国の共通点だけでなく、違いについても知ることができた。また、この交流会に参加し、もっと様々な国際交流会に参加していきたいと思った。
- ◇ 他国の人を交えた意見交換は初めてだったが、どうしたら全員に分かりやすく伝わるかなどといったことをグループ全員で考えることが出来たので、これからの学校生活等でも活かしていきたい。



【5日目 9月6日（日）】

◇終日 ホームステイ

県内 10 家庭にご協力頂き、ホームステイを実施しました。琴・三味線を体験したり、浴衣を着て神社を参拝したりして日本の伝統や文化に触れ、家庭内では日本の家庭料理や花火を楽しむ等、ホストファミリーの方々から様々な形のおもてなしを受けました。滞在終了時には、別れを惜しんで涙を流す生徒もあり、充実した素晴らしい時間を過ごしたことが伺えました。

◆参加者の感想（抜粋）

- ✧ ホストファミリーに出会えたことを本当に嬉しく思う。ファミリーが連れて行ってくれたさまざまな場所は、どこもとて印象深く、忘れられない思い出になった。一緒に過ごした時間は本当に楽しく、素晴らしい経験となった。この経験はきっと一生忘れない。
- ✧ ホームステイ先のご家族はとても素晴らしい方々だった。とてもオープンで、一緒にいて居心地が良く、安心して過ごすことができた。夜食含めたくさん食事を用意してくださり、本当にありがたかった。たくさんのお土産やプレゼントまで頂き、感謝してもしきれない。
- ✧ 今回の交流プログラムの中で、最も素晴らしく、心に残る経験だった。本場の日本の家庭料理を味わい、街の魅力に触れ、多くの温かい人々と出会うことができた。私は愛情を持って迎えられ、大切にされていると感じた。
- ✧ ホストファミリーの皆さんは私を温かく迎え入れ、とても大切にしてくれ、まるで本当の家族の一員のように接してくれた。一緒に過ごした期間は長くなかったが、皆さんの温かさを強く感じる事ができ、私を暖かく受け入れてくれているのが伝わってきた。その優しさと思いやりには本当に感動し、涙が出そうになるほどだった。ホストファミリーの皆さんには心から感謝しており、この経験は一生忘れることのできない大切な思い出となった。

【6日目 9月7日（月）】

◇10:00-11:00 日泰寺見学

本堂を見学し、日泰寺の設立の経緯・タイとの関係などの説明を受けました。その後の僧侶への質疑応答では、僧侶の生活等タイの仏教とは異なる点について、多くの学生が関心を抱いていました。



◇13:30-13:50 愛知県知事表敬（公館）

帰国前日に知事を表敬訪問し、交流事業の結果報告をしました。高校生代表からは、受入れに対する感謝の言葉とともに、愛知県の高校生の友達や、ホストファミリーとの出会いは素晴らしく、一緒に過ごした時間は忘れられない思い出になったとの言葉がありました。知事は、今後、愛知県とバンコク都、そして日本とタイの交流の担い手となることを期待していると述べました。

◆主な内容

- ◇ バンコク都高校生訪問団
代表挨拶
- ◇ 高校生代表あいさつ
- ◇ 訪問団各位自己紹介
- ◇ 知事あいさつ
- ◇ 記念品贈呈
- ◇ 記念写真撮影



◇14:00-14:30 愛知県庁本庁舎にて記念撮影、徒歩移動

◇14:30-16:00 名古屋城見学

名古屋城の本丸御殿を見学しました。石垣や美しい金地の障壁画の写真を撮りながら、日本の歴史を肌で感じました。生徒達は名古屋おもてなし武将隊の徳川家康公と英語で話をし、興奮した様子でした。





◇16:30-18:00 大須商店街散策

大須商店街を散策しながら買い物をしました。バンコクの家族や友人へ、たくさんのお菓子や雑貨を購入していました。



【7日目 9月8日（火）】

◇11:00 中部国際空港発

7日間の滞在を終えた生徒たちは、訪問先での体験や人との出会いを通して、様々なことを学び帰国しました。今回の経験が人生の糧となることを願うとともに、学生たちには将来、グローバル人材として世界で活躍し、バンコク都と愛知県の懸け橋となっていただくことを期待しています。

3 参加者アンケート（まとめ）

対象者：バンコク都訪問団の高校生 10 名

回答数：10

- 本事業に参加した理由は何ですか。 （人数）
- | | |
|--------------|------|
| 国際交流に関心があるから | …… 6 |
| 日本に関心があるから | …… 4 |
- 最も印象的だったのはどのプログラムですか。（3 個まで選択可）
- | | |
|----------------|------|
| ホームステイ | …… 8 |
| 豊田北高等学校訪問 | …… 8 |
| ジブリパーク | …… 3 |
| 徳川園での交流会 | …… 3 |
| 名古屋大学 | …… 3 |
| 大須商店街 | …… 2 |
| 名古屋城 | …… 1 |
| トヨタ産業技術記念館 | …… 1 |
| あま市七宝焼アートヴィレッジ | …… 1 |
- 今後、本事業に取り入れると良いプログラムは何だと思いますか。（複数回答有）
- | | |
|-------------|------|
| 伝統芸術体験 | …… 6 |
| 高校生・大学生との交流 | …… 5 |
| ホームステイ | …… 5 |
| 美術館・博物館訪問 | …… 1 |
| 地元企業の訪問 | …… 1 |
| 多くの伝統的な城郭巡り | …… 1 |
- 愛知県の魅力は何だと思いますか。（自由記述）
- ・食、ファッション、生活文化、歴史
 - ・ファッション、漫画
 - ・テクノロジーと食べ物。どちらも他にはない魅力があると思う。
 - ・ファッションとイベント企画だと思う。
 - ・食、歴史、ファッション、伝統

- テクノロジーと伝統文化が見事に融合しているところが魅力。また、人がそれほど多すぎず、過ごしやすい。さらに、この地域のものづくり産業もとても興味深い。
- 食べ物、ものづくり、自然、人々
- 歴史と食文化。博物館やお城を訪れたとき、タイの歴史や文化とは異なる点も多く、昔の時代の物語にとっても引き込まれた。そのため、それらについて学ぶことは本当に楽しく、充実した経験だった。食べ物もとてもおいしく、ほとんどの時間、夢心地な気分で過ごしていた。料理の味はとても個性的で風味豊かであり、本格的な食材と組み合わせることで、どの料理も素晴らしい味わいになっていた。そして、レストランへ向かうたびに、何を食べられるのかとてもワクワクしていた。
- 愛知にはいくつもの独自の魅力がある。私は、テクノロジーと伝統が見事に調和しているところが大好きである。また、味噌工場やトヨタ博物館のような場所に息づく長い歴史が気に入っている。そして、愛知の食べ物が大好き。
- 食べ物、文化、ミュージカル、ファッション、歴史。私が最も気に入ったものは「わびさび」。それは、不完全さ、無常さ、そして未完成さの中に美しさを見いだす、日本の伝統的な美意識および哲学である。

○ 事業全体についての感想（自由記述）（抜粋）

- このプログラムは本当に素晴らしいもの。そして、その一員になれたことをとてもありがたく思っている。
- 交換留学生としてここに来られたことをとてもうれしく思う。この旅行は本当に楽しく、自分の殻を破って新しいことに挑戦し、よりオープンマインドになる機会を与えてくれた。
- 全体として、このプログラムは本当に素晴らしく、とても良いものだったと思う！なぜなら、日本文化について学びたいと思っている学生や、新しい何かを見つけないかと思っている学生に、そのための機会を与えてくれるから。
- 悪かった点はまったくなく、良いことばかりだった。素晴らしい友情に感謝している。皆さんがしてくださったことすべてに、心から感謝している。
- すべてが完璧だった！このプログラムが本当に気に入った。
- このプログラムが今後も続き、将来の世代にもこの素晴らしい知識を提供してくれることを願っている。
- ここに来られたこと自体が本当に特別な機会であり、どれほど感謝しているか言葉では表せないほどである。